



2010
年度

助成団体紹介

① 子供たちが安全・安心に遊んで学べる親水公園を復活させる

仙台市内の小松島新堤沼 水質浄化作業(水辺の再生)



団体名 特定非営利活動法人
杜の都仙台ナショナルトラスト

主な活動地域 宮城県 仙台市内

目的

仙台市の中心部に位置する小松島新堤沼は、周囲の森、田んぼ、沼が一体となり、都心には数少ない、自然のままの里山の原風景を残しているが、生活排水や雨水が流れ込んで水質は汚濁している。そこでこの水質を浄化し、多くの市民が自然に触れることのできる水辺やビオトープを整備し、自然豊かな親水公園を復活させる。

実施内容

同団体は平成21年より、仙台市、地域町内会と協議会を立ち上げ、小松島新堤沼地域の活用の方向性を模索している。すでに水辺と田んぼ周辺の草刈り、清掃と観察をスタートさせ、現在もその活動は継続している。EM菌散布などによる水質の浄化活動も開始した結果、小魚が棲めるまでに回復した。また、草が生い茂っていた沼周辺も、草刈り作業を継続することで、少しずつ美しくなった。今回はこれまでのゴミ拾いや草刈りなどの清掃作業、EM菌とEMだんごの投入に加え、浄化作用を期待して水草ハスの植付けを行うほか、沼の一部にビオトープを作るための作業を開始し、清掃活動などと合わせて、少しずつビオトープを作っていく。そして誰でもが安心して遊べ、環境学習ができるようにする。

選考委員のひとこと

費用がかかるということで、専門家に頼らず、むしろ他の環境団体との情報交換などを望んでいる様子。コツコツと継続的に活動するという構えで、「10年後に見に来てください」と。ぜひ、行ってみたい。

TOTO 東京支社 Wさん記



ボランティアに参加しよう!

- ★清掃活動・ビオトープづくりと調査 2010年11月
- ★水質浄化作戦についての勉強会 2011年 1月
- ★清掃活動・EM発酵液とEMだんごの散布・ビオトープづくり 2011年 5月



EMだんご投入等で水質は改善してきた。活動の継続が大切だ



周辺には遊歩道もあり、憩いの場になりそうだ



安心して遊べるビオトープの完成が待たれる小松島新堤沼